

(2) 協議 ー平成28年度キャリア教育に向けての推進事業計画の作成に向けてー

ア 協議会における事業のねらい

「キャリア教育推進協議会」を継続運営し、1・2・3年「総合的な学習の時間」(1単位)の進路指導を中核としていながら、平成27年度からの学校設定科目である3年「地域ビジネスプランニング」(通年2単位)など、本校の大きな特色である商業教育(起業家教育等)も一層充実させていき、生徒の望ましい勤労観・職業観を育む「キャリア教育」を推進していく。

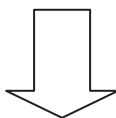
なお、昨年度から就業体験の事前・事後指導は進路指導部が担当することとなったのではあるが、来年度はキャリア教育・進路指導を強く意識した指導体制の構築ができるよう、過去10年間主管経験のある商業科からの支援を頂戴していきたい。

今年度は、平成24年度に「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」の研究指定を受けてから4年目が終了しようとしている。特に、質問紙調査などによりデータも取り入れながらの検証も行っている。この貴重な詳細データは、過去のキャリア教育推進協議会の資料にも掲載させていただいた。この貴重なデータを生かし、計画の作成を行った。

研究のねらい

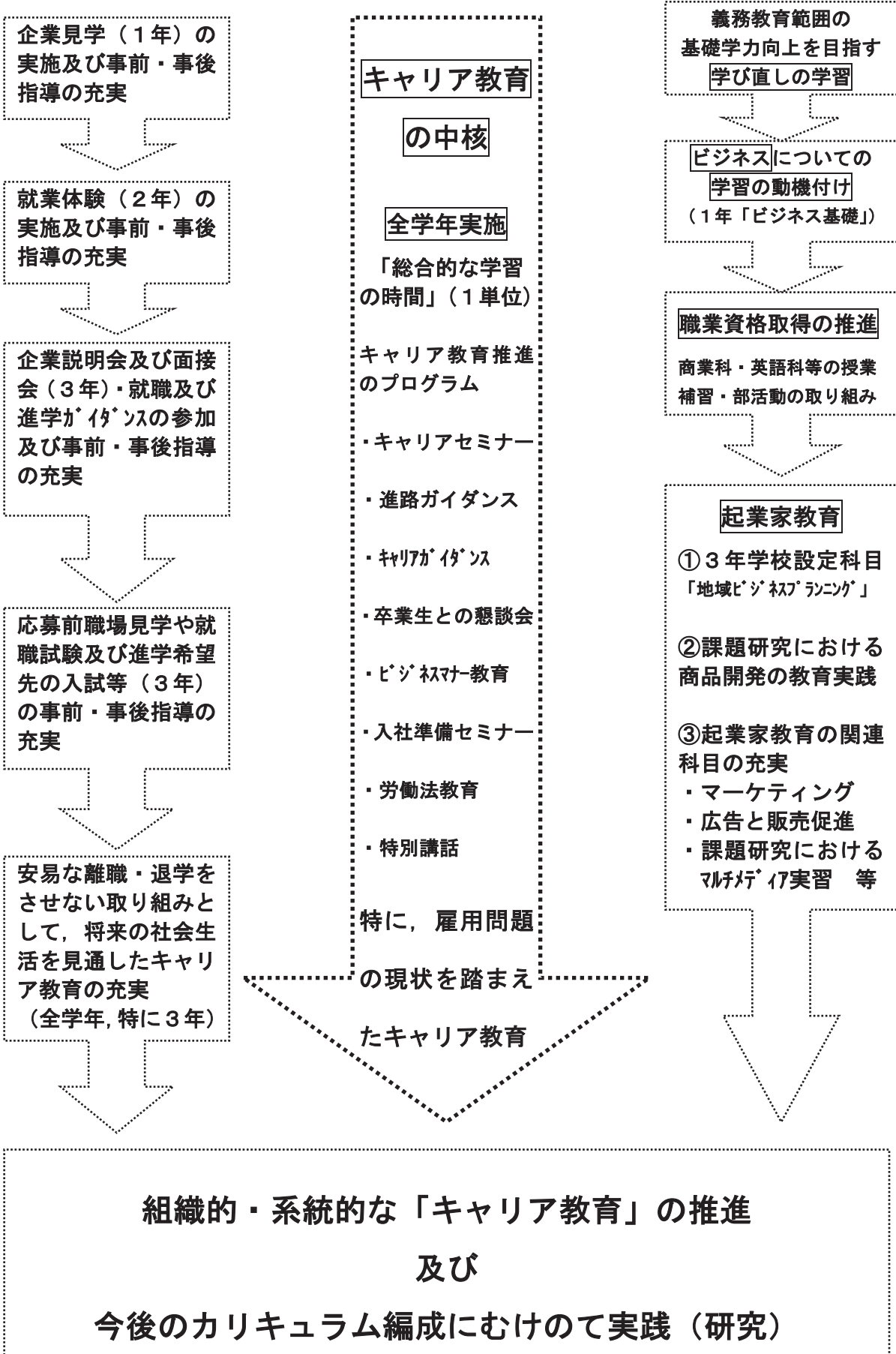
1 「キャリア教育」を推進する組織的・系統的なカリキュラムの編成

2 「進路指導」を中核に商業科の専門教育(起業家教育等(アントレプレナーシップ・商品開発等))も系統化された学習体制の確立



生徒の望ましい勤労観・職業観を育む「キャリア教育」の推進

イ 「キャリア教育」を実践する主な内容及び科目等について



ウ 本校のめざす「キャリア教育」の全体像（本校の「平成27年度 志教育全体計画」）

校訓 努力以て道を拓き 誠実以て衆に奉ず

本校の教育目標

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民を育成する。
 (1) 幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養う。
 (2) 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主自律の精神と勤労を重んずる態度を養う。
 (3) 商業に関する基礎的、専門的な知識と技能を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

生徒の実態、教師の願い
 ・確かな学力と社会人基礎力を身につけ、進路目標を達成したい。

育てたい生徒像

- ・基本的な生活習慣が身についている生徒
- ・家庭学習習慣を身につけ、努力ができる生徒
- ・授業に意欲的・積極的に取り組む生徒
- ・のぞましい勤労観と職業観を持った生徒
- ・検定取得に努力し、3級に合格できる生徒

保護者や地域の願い

- ・地域社会に貢献できる人材の育成。
- ・豊かな人間性と一般常識を身につけてほしい。

「志教育」の目標

自信と誇りを持たせ、目標に向かって充実した学校生活を送らせる。
 自己理解を深めさせ、現実感のある進路選択の知識と能力を育成する。

今年度の重点指導事項

- 【人と「かかわる」】
- ・ホームルーム活動を通じて、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。
 - ・起業家教育を推進し、地域の人との交流を通じて、自己理解や他者理解を深化させる。
- 【よりよい生き方を「もとめる」】
- ・系統的なキャリア教育に取り組み、社会に役立つ人間としての在り方を追求させる。
 - ・基礎学力の定着をはかり、学校で学ぶ知識と社会と職業との関連を実感させる。
- 【社会での役割を「はたす」】
- ・学校行事に積極的にかかわり、組織の中での自分の果たすべき役割を認識させる。
 - ・部活動に活発に取り組み、集団の中で自分の役割を果たすことで自己有用感を高める。

各学年の指導目標（主な活動、指導内容）

1 学年	2 学年	3 学年
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけさせる。 ・早期に高校生活に順応させる。 ・自己分析を土台にして将来を考えさせ、調べ方を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の自分を考えさせ、具体的な行動に移らせる。 ・勤労観、職業観を深めさせ、就業体験を通して理解させる。 ・進路実現の準備を開始させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて具体的に行動させる。 ・人生設計を踏まえて、高校生活ですべき事柄を理解させる。 ・適正な職業選択を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・基礎力確認テスト ・進路ガイダンス ・キャリアセミナー ・職業探索学習 ・企業見学、販売実習 ・卒業生との懇談会 ・キャリア教育講話 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力確認テスト ・進路ガイダンス ・キャリアセミナー ・就業体験 ・就職ガイダンス ・ビジネスマナー講習会 ・卒業生との懇談会 ・キャリア教育講話 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力確認テスト ・進路ガイダンス ・キャリアセミナー ・職場見学、オープンキャンパス ・模擬面接指導 ・合格体験記作成 ・キャリア教育講話（労働法、資金管理等）

各教科や資格取得	特別活動	総合的な学習の時間 および校外学習	家庭・地域・企業との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教科で興味、関心を高め、学習意欲の向上をはかる。 ・商業科目での資格取得を意識した指導の実施 ・習熟度別、TTの実施で基礎学力の定着をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動を計画的に実施し、クラス内での人間関係形成をはかる。 ・生徒会活動を活性化させ、自主的行動による行事を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を計画的に実施し、ワークシートや各種資料を有効的に活用する。 ・就業体験を重視し、事前、事後指導を重点化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的なPTA活動の実施 ・「鹿島台互市」や夏祭りへの積極的な参画。 ・地域連携型キャリア教育モデルとしての「キャリア教育推進協議会」の運営

指導上の留意事項 生徒のコミュニケーション能力の育成が「志」を育成する上で有効であるため、すべての指導で重要視する。

エ 平成28年度における主な活動計画

- ①「総合的な学習の時間」によるキャリア教育の一層の充実
- ②外部機関や人材の積極的活用など外部との連携の促進
- ③宮城県教育庁高校教育課など教育行政機関との密接な連携
- ④宮城労働局・古川公共職業安定所をはじめとした各地のハローワーク等とのさらなる密接な連携。
特に、本校在籍生徒の居住地の約7割を占める仙塩地区にある仙台・塩釜ハローワークとの密接な連携の重視
- ⑤中小企業家同友会も含め、各企業等の事業所との密接な連携等を通じた、昨今社会問題となっている若年者の離職問題についての対策の実施
 - ・離職問題に対応するためのデータ等の情報収集の継続
 - ・過去3年間の取り組みの継続
平成22年度以降の卒業生全員（過去6年間）を対象とした就職先の定着状況や離職状況について、事業所と卒業生に対し、対面及び電話による聞き取り調査を実施し実態の把握に努め、課題解決のための一助とする。
 - ・「総合的な学習の時間」等での、労働問題に関する教育の一層の充実
- ⑥進学者への追跡調査等の実施による、専門学校等の進学先の実態を把握
- ⑦「就業体験（インターンシップ）」の指導の在り方を検討し、キャリア教育の側面から指導体制等の強化
- ⑧4年連続実施の全学年によるキャリアセミナーの実施。
- ⑨ビジネスマナー教育の強化・改善。特に、秘書サービス接遇関係の指導方法の導入。
- ⑩本校のキャリア教育実践の原点である起業家教育についての一層の充実。
 - ・オリジナル教材「起業家教育 課題解決プログラム（KEP 鹿島台商業高校アントレプレナーシップ プログラム）」の改善
 - ・学校設定科目「地域ビジネスプランニング」（2単位）の教育内容を一層充実と、身につけさせたい社会人基礎力の養成
 - ・宮城大学との連携した「課題解決型学習における学生チューターの学習支援」の継続。
 - ・アドバイザーミーティング等、地域人材との連携
 - ・起業家教育関連科目「ビジネス基礎」「課題研究（特に商品開発やマルチメディア実習の内容）」「マーケティング」「広告と販売促進」等の教育実践内容の充実
- ⑪学習成果発表会の実施
- ⑫ホームページやマスコミ・雑誌等により、本校キャリア教育の取り組みを積極的に発信させていく。
- ⑬キャリア教育推進協議会の運営方法の研究
特に、学校経営や学校マネジメントも視野に入れた協議会のよりよい運営について研究。
地域連携も含めたよりよい組織の在り方について、全国各地の取り組みの調査や学校経営の専門家（研究者等）からの指導・助言。